

ログイン日時 : 2021年01月04日 00時18分50秒 | 文 景楠 (教員) |

[× ログアウト](#)**シラバス情報照会 照会画面**

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

## 授業情報

授業コード	3132545000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2021年度		
科目コード	5102129919	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 A		
科目英字名称	Reading of Original Texts A		
単位数	1.0		
履修期	前期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	1712780	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	文 景楠		
テーマ	女の子のための哲学		
講義内容	哲学は成人男性の声に満ちています。有名な哲学者の多くは特定の文化圏の流れに属する成人男性であり、日本の大学の哲学科で活動する教員や学生の多くも男性です。この授業では、女性、特に若い女性の目線から哲学の問題を紹介する英文を読みます。なお、教科書の書き手とそこに登場する人物の多くは女性ですが、扱われる主題はジェンダーに限られず、自律や論理、懐疑といった普遍的な哲学のそれです。この授業は、対面授業として実施されます。		
達成目標	① 様々な哲学的議論に触れる。 ② レジユメをまとめ、疑問を提起する能力を養う。 ③ 学術的な英文を正確に読解する能力を養う。		
授業計画 第1回	【事前学修】教科書の目次を検索し、どの部分に関心をもっているのかを説明できるようにしておいてください。 【授業内容】オリエンテーション 【事後学修】自分が哲学に関してもっている関心について、300字程度の短いコメントを提出してください。		
授業計画 第2回	【事前学修】テキストのPrologue: Persephone: The Invitationを読んでください。 【授業内容】ペルセポネーの物語を解釈する 【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジユメを再読し、復習を行ってください。		
授業計画 第3回	【事前学修】テキストのIdentity: Being-in-the-World and Becomingの前半部を読んでください。 【授業内容】アイデンティティ1：前半の読解 【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジユメを再読し、復習を行ってください。		

授業計画 第4回	<p>【事前学修】テキストのIdentity: Being-in-the-World and Becomingの後半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】アイデンティティ2：後半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第5回	<p>【事前学修】Identity: Being-in-the-World and Becomingに関して、段落毎の内容を簡略に説明できるようにしておいてください。</p> <p>【授業内容】アイデンティティ3：内容確認と討論</p> <p>【事後学修】授業中の討論をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第6回	<p>【事前学修】テキストのAutonomy: Being True to Ourselvesの前半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】自律1：前半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第7回	<p>【事前学修】テキストのAutonomy: Being True to Ourselvesの後半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】自律2：後半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第8回	<p>【事前学修】Autonomy: Being True to Ourselvesに関して、段落毎の内容を簡略に説明できるようにしておいてください。</p> <p>【授業内容】自律3：内容確認と討論</p> <p>【事後学修】授業中の討論をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第9回	<p>【事前学修】テキストのPride: The Complexities of Virtue and Viceの前半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】プライド1：前半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第10回	<p>【事前学修】テキストのPride: The Complexities of Virtue and Viceの後半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】プライド2：後半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第11回	<p>【事前学修】Pride: The Complexities of Virtue and Viceに関して、段落毎の内容を簡略に説明できるようにしておいてください。</p> <p>【授業内容】プライド3：内容確認と討論</p> <p>【事後学修】授業中の討論をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第12回	<p>【事前学修】テキストのQuestions: The Heart of Philosophyの前半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】問い1：前半の読解</p> <p>【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。</p>
授業計画 第13回	<p>【事前学修】テキストのQuestions: The Heart of Philosophyの後半部を読んできてください。</p> <p>【授業内容】問い2：後半の読解</p>

	【事後学修】授業中の読解をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。
授業計画 第14回	【事前学修】Questions: The Heart of Philosophyに関して、段落毎の内容を簡略に説明できるようにしておいてください。 【授業内容】問い3：内容確認と討論 【事後学修】授業中の討論をもとに参加者が作成するレジюмеを再読し、復習を行ってください。
授業計画 第15回	【事前学修】今まで行ってきた英文和訳の要点を確認し、期末レポートで扱いたい題材に関して5分程度で説明できるようにしておいてください。 【授業内容】最終達成度評価及びレポート構想発表 【事後学修】授業中の議論を、期末レポートを作成してください。
授業計画 第16回	
授業計画 第17回	
授業計画 第18回	
授業計画 第19回	
授業計画 第20回	
授業計画 第21回	
授業計画 第22回	
授業計画 第23回	
授業計画 第24回	
授業計画 第25回	
授業計画 第26回	
授業計画 第27回	
授業計画 第28回	
授業計画 第29回	
授業計画 第30回	
成績評価方法	成績評価は次の3点に基づいて行います。（）内は、各方法の①具体的内容、②達成目標との関連、③配点、④評価の観点・基準。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常時のパフォーマンス (① 授業中に行う英文和訳とレジюме作成。② 達成目標1、2、3 ③ 30点 ④ 和訳の正確性及びまとめの適切性 (100%) )</li> <li>・ 最終達成度評価 (① 最終回に英文和訳を主な内容とする達成度評価を行う。② 達成目標3 ③ 30点 ④ 解答の正確性 (100%) )</li> <li>・ 期末レポート (① 授業中に提示する課題に対して3000字程度のレポートを提出。② 達成目標1、2 ③ 40点 ④ 主張やまとめの適切さ (80%)、字数の遵守 (20%) )</li> </ul> <p>※各評価方法の割合は上記の通りですが、単位取得のためには、これらの要件すべてにおいて最低基準を満たしている必要があります。</p> <p>※期末レポートに関しては、後日manabaなどでフィードバックします。</p>
学修に必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 哲学・倫理学系の科目を2単位以上取得していることを前提します。</li> <li>② 演習形式で進める予定ですので、毎回の出席と発言は必須です。</li> <li>③ テキストとなる哲学書は入門用のものですが、それでも（講師の解説に頼るのではなく）自力で込み入った議論につきあう最低限の努力が必要となります。予習復習は欠かせないと思ってください。</li> <li>④ 英和辞典を持参してください（電子辞書も可）。</li> </ul>
関連して受講することが望ましい科目	「哲学」「倫理学」「科学的思考の基礎」など。
テキスト	<p>テキストは下記のものを使用します。必要箇所をコピーして配布する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Shew, Melissa M. and Kimberly K. Garchar. 2020. "Philosophy for Girls: An Invitation to a Life of Thought." Oxford: Oxford University Press. (ISBN : 9780190072926)</li> </ul>
参考文献	<p>より詳しい文献情報は授業中に指示します。以下は授業の補足となる文献です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 稲原美苗+川崎唯史+中澤瞳+宮原優 編『フェミニスト現象学入門：経験から「普通」を問い直す』ナカニシヤ出版、2020。(ISBN : 9784779514265)</li> <li>② 野矢茂樹 (1996) 『哲学の謎』講談社現代新書、講談社。(ISBN : 4061492861)</li> <li>③ サイモン・ブラックバーン 監修『図鑑 世界の哲学者』（熊野純彦 日本語版監修）東京書籍、2020。(ISBN : 9784487813285)</li> </ul>
履修上の注意	特別の事情がない限り、通年で受講してください。オフィスアワーは開講時に指示しますが、相談がある場合はEメールで先に連絡をいただいたほうが確実に対応できます。
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。【アクティブラーニング科目】
添付ファイル1	説明1
添付ファイル2	説明2
添付ファイル3	説明3

添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

## 教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2021年度	前期授業	木曜 2 校時	前期授業	泉) 3 1 E 講義室

## カリキュラム情報

項番	学生区分	所属区分	学部	学科	専攻・コース	適用入学年度
1	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2011年度～2011年度
2	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2012年度～2012年度
3	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2013年度～2014年度
4	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2016年度
5	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2018年度
6	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2017年度～2018年度
7	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2019年度
8	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2100年度
9	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2020年度～2100年度
10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2011年度～2011年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2012年度～2012年度
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2013年度～2014年度
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2018年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2018年度

16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2019年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2100年度
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2020年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2011年度～2011年度
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2012年度～2012年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2013年度～2014年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度
23	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2018年度
24	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2017年度～2018年度
25	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2019年度～2019年度
26	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2019年度～2100年度
27	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2020年度～2100年度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2011年度～2011年度
29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2012年度～2012年度
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2013年度～2014年度
31	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年度
32	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2018年度
33	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2018年度
34	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2019年度
35	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2100年度
36	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2020年度～2100年度

37	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2011年度～2011年 度
38	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2012年度～2012年 度
39	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2013年度～2014年 度
40	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2016年 度
41	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2018年 度
42	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2017年度～2018年 度
43	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2019年 度
44	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2100年 度
45	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2020年度～2100年 度

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.